

町民の皆さまへ

挑戦しないことが失敗

多くの夢をのせて打ち上げられたカイロスロケットが、残念ながら発射5秒後に飛行を中断する措置がとられ機体が爆発しました。爆発したというよりも安全面を考慮し破壊させたようです。詳細については現在調査中とのことですが、町民の皆さんをはじめ全国から大きな注目を集めていた国内初の民間ロケットだっただけに落胆の声が大きく、私自身も9年間にわたって取り組んできたプロジェクトだっただけに、爆発の瞬間、全身の力が抜けてしまう思いがしました。



数時間後、スペースワン社の豊田社長が記者会見を開き「スペースワン社としては『失敗』という言葉は使わない」「一つ一つの試みの中に新しいデータや経験があり、そういったものがこれからの挑戦に向けての糧になる」「スピード感をもって今後、年20機、30機を達成していきたい」と話されました。何とも心強い記者会見であり、町としても一喜一憂することなく、ロケットを軸とした産業おこし・地域おこし・子どもへの教育向上に向け、2号機以降の打ち上げ成功に全力で協力していきたいと思えます。

今回一つ嬉しかったのは、田原の公式見学場に全国から集まってくれた2500人のロケットファンでした。当初予定していた3月9日の打ち上げが海上の警戒区域内に船舶が残留したことで延期となり、そして仕切り直した3月13日の打ち上げ当日、会場から大ブーイングが起きても不思議ではない状況でしたが、皆さん溜め息をつきながらも「仕方ない、仕方ない」「ロケットは一発目からそう簡単に上がらんで」「次回に期待しますわ」と声をかけて頂き、中には涙を流しながら「応援してます」「次回も必ず来ます」と広島から来られたと言う女性が言ってくれました。

私は打ち上げ翌日の朝、役場の館内放送を通じて2日間に渡って朝早くから交通整理や会場運営にあたってくれた職員（延べ200人）に対し感謝を述べると共に、私たちのこの努力がこれからの串本町の発展に繋がっていくのだということを話しました。

かの世界の発明王トーマス・エジソンが言ったと言われる言葉に「成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないことである」と有ります。

串本町も歩みを止めることなく、これからもあらゆる分野に挑戦し、住みよい町を築いていきたいと思えます。

串本町長 田嶋 勝正

【広告】町収入の一部とするため有料広告を掲載しています。